

## 市議会活動に関するご意見

1. 18歳以上の高校生を対象に議会報告会をやって頂き、佐野市政、議会に興味関心を持ってもらい、それらの意見を取り入れて、活力ある街づくり、佐野市政に繋げてほしい。
2. 議会を平日だと傍聴したいが出来ないので、出来れば土日、若しくは夕方から開催して欲しい。

答弁

議会運営委員長

議会としましても今後土曜、日曜の開催は、議会運営委員会、議会活性化委員会で取り組んでいかななくてはいけないと思っておりますが、行政の執行部との兼合いがあり時間をかけて議会と行政で擦り合わせをしまして皆さんに開かれた議会と言うことで取り組んで参りたい。

3. いろんな方々が出やすい場所で、あまり固定化しないで昼間やったり、夜やったり、或いは日曜にやったり平日にやったりと多彩なかたちで、この議会報告会を年5回でも10回でもやって頂きたい。
4. 出来るだけ発表、説明内容がわかる資料を出して頂きたい。

答弁

議会報告会委員長

今回は第一回と言うことで、今年は年一回でこれを受けて、この後何回やるか。場所についても今回は真ん中と言うことでここに決めたのですが、葛生、田沼、佐野ありますので分けて、いろんな形で検討させて頂きたい。資料については、皆さんにわかりやすいような形で工夫をさせて頂く。

5. 国会議員、県議員、市議員さんの構成の中で役割分担、たとえば管理、経費がだぶっていないか。
6. 国会議員、県議員、市議員の連携活動は行われているのか。

答弁

議会報告会委員長

市会議員、県会議員の合同の打ち合わせ会合はございません。党での打ち合わせはあります。経費については国会に対しては安くしなさい。国会議員の定数をもっと減らせと最初にそう言う約束をしたんじゃないかと我々が言う訳ですが、直接それにたいして参加出来ないのも、あくまで国会議員がやるということなので、先程、県議会とか、市議会で経費がダブっているのではないかとということなのですが、市議会だけのことだけに言わせて頂きますと、我々は市議会というものについて責任を持って行政の提案に対して、いい悪いの判断をさせて頂いて行動をさせて頂いている。

議長

国、県、市、各議員間のいろいろな形で話あいはない訳ではない。県議が市議に内容を下ろし市議は話し合いの中で対応している。県議と正副議長が話し合いをしている。もっと大きな立場では全国市議会議長会の決定事項を担当省にお願いしている。